

佐藤 博 議員



TPP参加協議を契機に 競争力が高い農業の研究を

問

TPP【関連記事3・6
面】と農政について聞く。
(1) TPPの市の考えは。
(2) (国が)TPPに参加し
なかつたとしても、今後、
農作物等の貿易自由化は避
けて通れない課題である。
市がJAとタイアップし
て付加価値を高めたり、競
争力が高い農業の研究を提
案したいがどうか。
(3) 大規模農家に土地を貸
し、有利に収入を得る仕組
みを考えてはどうか。
また土地の所有者が株主
になり、スーパー等が経営
する農業経営法人化モデル
地区を検討してはどうか。

集落営農を支援 したい

答 開発部長

(1) 農業を切り捨てない対
応が必要である。
食料安全保障の観点から
慎重に対応し、現時点でT
PP参加は拙速に対応すべ
きではないと考えている。
(2) 転作や収穫後水田の活
用を通じ、一村一品運動も
取り入れた集落産品の創設
等が必要だと考えている。
JA、各集落組織等が中
心となり、集落ごとの農業
のあり方を構築する時期に
来ていると思っている。
市も県とともに積極的に
支援していきたい。
答 市長
(3) 市として誇れるブラン
ドをつくり、JAとタイア
ップし消費を広めていく方
が、理路整然とした形がで
きるのではないか。
大手企業参入による法人

化は、大変難しい問題だろ
うと思う。



平和教育として行われた
戦争体験談を聞く生徒
【22年11月・弥富北中学校】

教員向けの平和 教育の指導は

問

中学生への平和教育につ
いて聞く。
(1) 重要性をどう考えるか。
(2) 平和教育の認識を、先
生にどう指導していくのか。
(3) 生徒に平和問題のレポ
ートを書かせ、その認識を

先生が把握の上、教育に臨
むことも大事ではないか。

23年度派遣に備 え教員組織設置

答 市長

(1) 23年度から中学校2年
生を対象に、広島県に平和
学習派遣をしていこうとい
う計画を持っている。
平和と人権尊重を勉強す
ることは大変重要である。
子どもたちが相互の人間
関係を深め、互いが協力し、
よりよい集団生活をしよう
とする態度を身に付けてほ
しいことが一番骨子にある。
答 教育長
(2) 現在、市内中学校の校
務主任等を中心に、平和教
育を推進する検討委員会を
設置している。
より成果の上がる平和教
育になるような研修等も含
め、検討していきたい。
(3) できる限り早い時期に
レポートかアンケート調査
を実施していきたい。